

田村市バイオマス発電計画における HEPA フィルター設置の報道について

拝啓

貴社におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、8月31日付け日刊工業新聞におきまして、「タケエイ、福島でバイオマス発電 県内資源使い産業活性化」なる記事が掲載されました。本記事によりますと田村市バイオマス発電計画において「安全と環境への配慮を徹底するため、バグフィルターでの処理後にHEPAフィルターでも処理する。これにより粉じんを99.97%以上で取り除く」旨の記載がありました。

ご承知のように、田村市バイオマス発電計画をめぐるのは、セシウムなど放射能汚染された木材チップの焼却による放射能粉じん再拡散の懸念があり、地元大越町を中心に計画の白紙撤回を求める住民運動が起こっております。このような状況のもとで、本バイオマス発電計画において HEPA フィルター設置というニュースは住民をはじめ関係者にとり、大変注目されるものです。

しかしながら、従来より HEPA フィルターは原発構内の廃棄物焼却施設など、小規模の施設においては設置事例があるものの、「焼却能力が数十トン/日以上以上の大きな一般的な焼却炉への適用事例はない」¹とされており、実際に各地の一般ごみ焼却炉、バイオマス発電設備で適用された事例は聞いておりません。従来方式で大型化するためにはコスト面等で実用化の問題があると推察いたします。

今回の報道が正しいとすれば、従来の HEPA フィルターでは実現されていなかった機構、素材、逆洗方式など技術的ブレイクスルーがあるのではないかと推察いたします。つきましては、今回の報道に関して以下の点につきまして詳細な説明、情報開示を求めるものです。

ご回答は文書にて9月14日までをお願いします。

- 1) 本記事にある HEPA フィルターが技術的ブレイクスルーを有する場合、それを説明する論文、参考資料等、および性能データ。
- 2) 上記 HEPA フィルターの田村市バイオマス発電に関する設計仕様書とコスト概算。
- 3) 従来型の HEPA フィルターの単なる大型化であれば、その内訳を示す設計仕様書と導入コスト概算。
- 4) 田村市バイオマス発電における HEPA フィルター運用経費見込。
- 5) 田村市バイオマス発電において HEPA フィルターが機能していることを保証する機構。
- 6) HEPA フィルター異常時の運用方法。

2018年9月6日

化学物質問題市民研究会代表 藤原寿和

放射能ごみ焼却を考えるふくしま連絡会 和田央子

埴町木質バイオマス発電問題連絡会 金澤光倫

NPO 法人市民放射能監視センター（ちくりん舎）副理事長 青木一政

本件に関する問い合わせ・返信先 090-7245-7761 QZL00322@nifty.com 青木一政

敬具

¹ 対策地域内に設置する仮設焼却炉の排ガス処理効果及びモニタリング方法の実験的な確認について 平成 24 年 12 月 21 日 環境省対策地域内廃棄物チーム

https://www.env.go.jp/jishin/attach/haikiyouka_kentokai/15/mat03.pdf